

## 8・5 沖縄連帯「オスプレイ配備阻止集会」へのメッセージ

オスプレイ沖縄配備阻止の為、東京で頑張っておられる皆様へ、岩国から連帯と感謝のメッセージを送ります。

超危険な輸送機オスプレイが先月23日、岩国基地に陸揚げされてしまいました。おりしも山口県知事選挙の真っ最中、まさかこのような時流の中でアメリカはとっと思っていました。先月の接受通報にも書かれているように、10月には普天間に配備を終了させるという終点を決めて乗り込んできた米軍の入れ込み様が見えるようです。

そしてそれ以上に、民主党政権の全てアメリカ追随といった自主性の無い今日の姿を觀た感が致します。岩国では想像以上に多くの皆さんが、陸揚げ反対の行動を炎天下繰り広げてくださいました。その姿は終日、全国に流され多くの皆さんが日米政府の蛮行に怒りを向けました。

あれから10日、オスプレイは海兵隊の駐機場に12の翼を並べいつでも沖縄へ向け飛び立てるようにその機を伺っています。

わたしたちは3日、岩国爆音訴訟団の新たな取り組みとして一計を案じ、オスプレイの飛行差止め・エンジンテストの差止めを求めて岩国地裁に追加提訴を行いました。何としても岩国から、オスプレイを沖縄へ送り込むことは阻止しなければなりません。

来週からは何とか配備反対を唱えている岩国市長へも、具体的な反対の意思行動実践を求め、要請行動を進める予定です。

沖縄では5日の大集会は台風水入りとなりましたが、闘いはまさにこれからです。この時間に体制を組み直し、必ずオスプレイは岩国からアメリカへ送り返すことを皆さんと実現させましょう。本日の取り組みがさらに新たな力となるよう期待いたしまして、岩国から連帯のメッセージといたします。

2012年8月5日

岩国から 田村 順玄 (たむらじゅんげん)  
( 岩国市議、リムピース共同代表 )